

研究課題「個々のがんの遺伝子変異に基づく固有抗原の同定と腫瘍内微小環境の解析に基づく免疫制御法を組み合わせた個別化がんワクチン治療の開発」に参加された患者さん・ご家族に対するお知らせ

このたび上記の研究課題において、研究内容に遺伝子変異に反応するT細胞を用いたT細胞治療の開発を追加、解析方法（全ゲノムシーケンス）の追加、共同研究機関として東京大学医科学研究所、シンクサイト株式会社の追加、新たな研究費が追加されました。これらの変更に伴う患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、垣見和宏までご連絡をお願いします。

**【研究課題】**

「個々のがんの遺伝子変異に基づく固有抗原の同定と腫瘍内微小環境の解析に基づく免疫制御法を組み合わせた個別化がんワクチン治療の開発」  
審査番号：G3545

**【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】**

東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座 垣見和宏

**【対象となる方】**

2013年3月12日より2021年2月19日までの間に、東京大学医学部附属病院で、研究課題「個々のがんの遺伝子変異に基づく固有抗原の同定と腫瘍内微小環境の解析に基づく免疫制御法を組み合わせた個別化がんワクチン治療の開発」にご協力いただいた方。（上記の方のうち、新たな研究への協力を望まないという意思表示をされた方は、本研究の対象から除外させていただきます。）

**【研究の意義、目的、方法】**

本研究では、皆様の手術の時に切除された腫瘍組織の一部から DNA や RNA を抽出して、全ゲノムシーケンス、全エクソンシーケンス、全 RNA シーケンスとよばれる方法で腫瘍組織の遺伝子を解析し、がん細胞にだけ認められる「遺伝子の異常」によって作られるタンパク質を標的としたがんワクチン治療が可能になるかどうか、また遺伝子変異に反応する T 細胞を用いた T 細胞治療の開発を検討しています。全ゲノムシーケンスを追加することで、より詳細な情報を得ることが可能になります。また、免疫反応に影響を与える、または腫瘍の増殖に関わる「遺伝子の異常」を明らかにしてその情報を治療に結びつけることを目指しています。さらに、免疫細胞治療において、早い段階でその治療の適応性、有効性（効果の有無）の判定ができるか検討しています。シンクサイト株式会社は、T 細胞の顕微鏡画像の特徴をとらえて、その機能を判定する技術を持っています。そこで、今回遺伝子変異に反応する T 細胞の解析を担当してもらうことになりました。

**【個人情報の保護】**

この研究のためにご自分の試料を使用してほしい場合は、ご本人あるいは

は、ご家族の方(研究参加者がお亡くなりの場合)より、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせて頂き、解析を進めていきます。解析が終了したのちは、お申し出頂いて取り消すことが難しいことをご了承ください。研究への利用の停止をお申し出頂くことによって、あなたが治療等において不利な扱いを受けたり、不利益になったりすることは一切ありません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、医学部附属病院免疫細胞治療学講座の科学研究費補助金、日本医療研究開発機構 (AMED) からの研究費、国立研究開発法人理化学研究所との共同研究費から支出されています。タカラバイオからシングルセル解析に関する役務提供と共同研究費の提供、DNA チップ研究所から NGS を用いた微量の遺伝子変異解析に関する役務提供、シンクサイト株式会社から、画像解析に関する役務提供と共同研究費の提供を受けています。共同研究者の油谷浩幸は、株式会社富士通研究所から役務の提供を受けています。垣見和宏はタカラバイオ株式会社の寄付講座「免疫細胞治療学講座」に所属しています。

尚、あなたへの謝金はございません。

#### 【連絡先】

研究責任者及び連絡担当者：垣見和宏  
〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座  
Tel: 03-5805-3161 Fax: 03-5805-3164